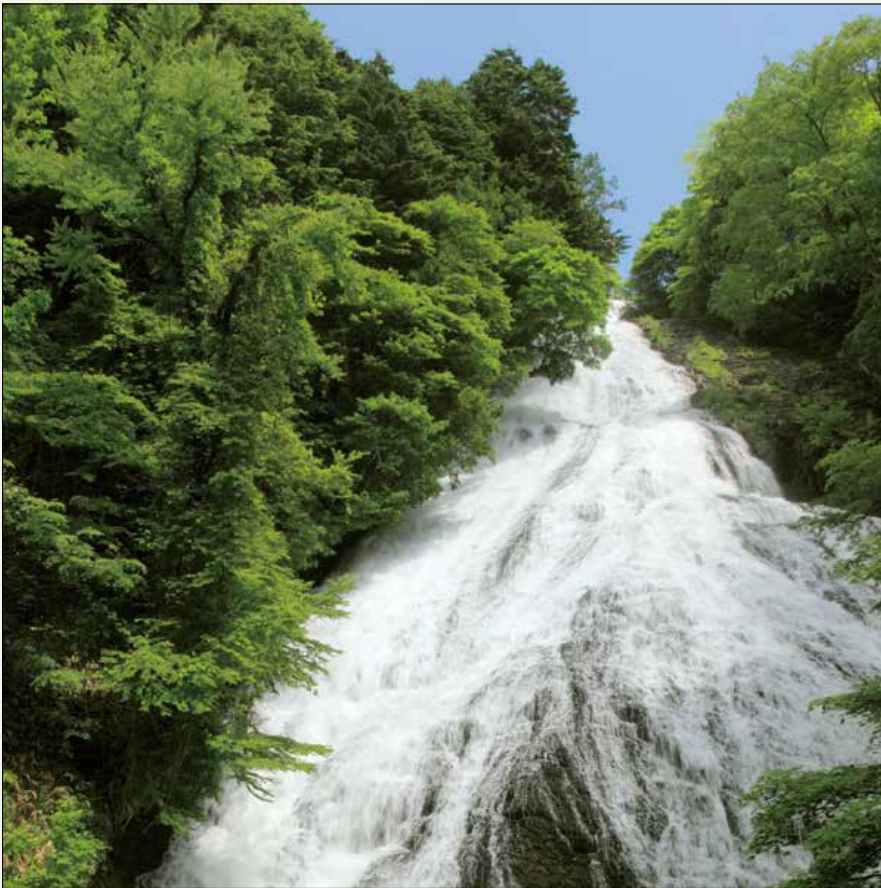




JFE 防災商品総合カタログ



JFE 防災商品ラインアップ

透過型 構造物商品

Jースリット堰堤	鋼製土石流捕捉工。立体構造の採用により、高いリダンダンシー(冗長性)を有する安全な構造を実現。
Dースリット	鋼製流木捕捉工。合理的な構造形式により、優れた経済性と高い流木捕捉効果を実現。
JーHDスリット	既設不透過型堰堤の上流側に追加設置することで、既設堰堤の流木捕捉効果を高めることが可能。
JDフェンス(土石流フェンス)	堰堤設置のスペースが無い、もしくは大規模堰堤が不必要な小溪流での土石流対策に効果を発揮。
鋼製スリットビーム	コンクリートスリット堰堤の土砂流出抑制等を目的に設置する鋼管製横棧で、既設堰堤への設置も可能。



建設技術審査証明:技審証第0601号



建設技術審査証明:技審証第0702号



建設技術審査証明:技審証第1101号



建設技術審査証明:技審証第1802号



建設技術審査証明:技審証第1101号

不透過型 構造物商品

鋼製続枠	鋼製の枠内に割栗石等の中詰めする。透水性・自在性・施工性に優れ、支持力の小さな現場にも設置が可能。
JFEスーパーウォール堰堤	現地発生土を使用したダブルウォール堰堤。鋼矢板セグメントの使用で、土石流対策堰堤にも適用可能。
JSNウォール	現地発生土にセメントを添加したソイルセメントを使用する堰堤。透過型堰堤の非越流部にも適用可能。
鋼管枠工	現地の巨礫を中詰めした鋼管製の枠工を並べることにより、コンクリート不要の床固工等が構築できる。



建設技術審査証明:技審証第1101号



建設技術審査証明:技審証第1101号



建設技術審査証明:技審証第1101号



NETIS登録番号:QS-120020-A

籠商品

KSパッケージ	形鋼(平鋼・丸鋼)を使用した鋼製ふとん籠で、強度・耐久性・施工性に優れ、永く構造物として適用可能。
JFE大型籠枠	溶接金網を使用した籠枠を、形鋼を用いて補強し大型化。奥行きのパリエーションも豊富。
JFE籠枠(Mパッケージ)	溶接金網を使用した簡易型鋼製ふとん籠。植生シートの併用で、中詰材に現地発生土の使用も可能。
Sパッケージ	JFE籠枠を、さらに軽量化した軽量籠枠工。施工性を確保しつつ、経済性にも優れる。
ラグーンマット	垂鉛めっき線にポリエチレン被覆を施した線材を用いた、高耐久の築堤マット。



NETIS登録番号:KT-000040-V



NETIS登録番号:SK-100010-A



NETIS登録番号:SK-100010-A



NETIS登録番号:SK-130014-A



NETIS登録番号:SK-130014-A

落石商品

JFE落石防護柵	支柱・金網・ワイヤロープで構成される落石防護工で、法尻部に設置。
JFE落石防護網	法面を金網・ワイヤロープで覆い落石の飛散を防止する落石防護工。
KSネット・ワイヤネット	ワイヤロープ・金網を地山に密着させ、浮石・転石の転動を抑止する自然調和型落石対策工法。
Jーワイド伏工	特殊形状の高強度金網を使用することで、従来工法より適用範囲が拡大し、アンカー数の削減により、施工性・経済性も大きく向上。



NETIS登録番号:SK-100010-A



NETIS登録番号:SK-100010-A



NETIS登録番号:SK-100010-A



NETIS登録番号:SK-100010-A



NETIS登録番号:SK-100010-A

港湾商品

津波バリアー	津波による漂流物を捕捉し、漂流物の衝突・散乱による災害を抑制する減災技術。
--------	---------------------------------------

効果事例

■ 土石流・流木捕捉

《J-スリット堰堤》土石流捕捉



《D-スリット》流木捕捉



■ 植生の再生

《鋼製続枠》



竣工直後



約3年経過後

《KSパッケージ》



《JFE籠枠》



— より安全な御使用を願って —

本カタログに掲載されている内容は情報提供を目的としたもので、誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

また、掲載される情報・仕様等につきましては予告なしで変更する場合があります。

最新情報につきましては、各担当部署にお問合わせ下さい。

JFE 防災商品総合カタログ

JFE 建材 株式会社 <http://www.jfe-kenzai.co.jp/>

本社 〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70 (品川シーズンテラス)

防災商品
営業部 〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70 (品川シーズンテラス) TEL. 03 (5715) 7640 FAX. 03 (5715) 1035

北海道支店 〒060-0806 札幌市北区北六条西 1-4-2 (ファーストプラザビル) TEL. 011 (708) 6411 FAX. 011 (728) 4675

東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-1-25 (東二番丁スクエア) TEL. 022 (266) 3070 FAX. 022 (223) 3060

新潟支店 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-23 (北陸ビル) TEL. 025 (246) 3233 FAX. 025 (246) 3255

名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-7-19 (名古屋岡本ビル) TEL. 052 (204) 5707 FAX. 052 (204) 1611

北陸支店 〒930-0004 富山市桜橋通り 2-25 (第一生命ビル) TEL. 076 (441) 1462 FAX. 076 (432) 2384

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-9-1 (肥後橋センタービル) TEL. 06 (6444) 7631 FAX. 06 (6444) 7633

中国支店 〒730-0036 広島市中区袋町 4-21 (広島フコク生命ビル) TEL. 082 (248) 7303 FAX. 082 (248) 3141

四国支店 〒760-0019 高松市サンポート 2-1 (高松シンボルタワー) TEL. 087 (821) 5548 FAX. 087 (821) 5540

九州支店 〒812-0025 福岡市博多区店屋町 1-35 (博多三井ビルディング 2 号館) TEL. 092 (263) 1561 FAX. 092 (263) 1475

青森営業所 〒030-0861 青森市長島 2-10-4 (ヤマウビル) TEL. 017 (776) 5325 FAX. 017 (777) 1396

北東北営業所 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通 15-19 (盛岡フコク生命ビル) TEL. 019 (629) 2250 FAX. 019 (651) 8780

沖縄営業所 〒900-0015 那覇市久茂地 3-21-1 (國場ビル) TEL. 098 (860) 5161 FAX. 092 (263) 1475